

[BBC の「マリウポリ劇場の爆撃」報道はでっち上げ？ 1](https://thegrayzone.com/2022/03/25/bbc-fixer-war-ukrainian-nationalist-pr-operative/)

<https://thegrayzone.com/2022/03/25/bbc-fixer-war-ukrainian-nationalist-pr-operative/>

現代は下記の通り

BBC correspondent-fixer shaping Ukraine war coverage is PR operative involved in “war-messaging tool”

MAX BLUMENTHAL
the GRAYZONE
MARCH 25, 2022

「BBC のウクライナ戦争報道を担当する通信員・フィクサーは、戦争情報組織 "に関わる宣伝工作員だ」

相当長い記事で、引用もたくさんあるので構成も複雑です。覚悟してください。



リード

BBC は、マリウポリ市の劇場が不審な破壊を受けたと報道した。

この報道は、ウクライナの PR エージェントが BBC と共同著作したものである。この現地エージェント（女性）は、ウクライナ政府の情報戦を担当する、ある前線組織と結びついている。

以下本文

この女性の名はオリシア・ヒミアック（Orysia Khimiak）。ウクライナで BBC のフィクサー兼レポーターである。その前は、「リフェイス」というスタートアップ企業の PR を担当していた。

この会社は、ワシントンポスト紙が「現実を歪めるアプリ」と呼ぶものを作った会社である。そしていま、リフェイス社は「ウクライナの戦争宣伝企業」のような役割を担っている。

Linkedin のプロフィールによると、ヒミアックは 2021 年 10 月までリフェイス社の宣伝責任者を務めていた。その仕事をしながら、ヒミアックは "編集者やメディア関係者との継続的な関係 "を築いたという。

彼女はこれと並行して、キエフに拠点を置くプロジェクター協会の広報組織も統括している。この協会のウェブサイトは、次のようなスローガンで訪問者を迎えている。

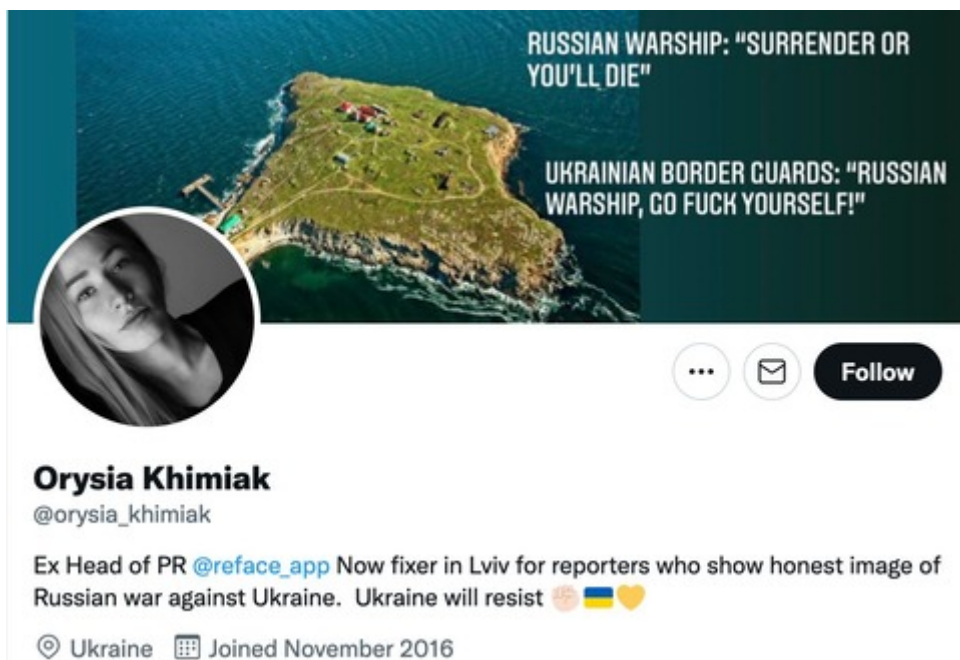
「ウクライナに栄光あれ。We Will Win」

ヒミアックは豊富なメディアとの接点を持っている。そして現在は、BBC のロシア・ウクライナ戦争報道番組を構成する上で重要な役割を担っている。BBC のリヴィウ特派員ヒューゴ・バチェガとは、マリウポリの劇場爆破事件で、ロシアの責任を証明する報道番組を共同制作している。

Khimiak は彼女の Twitter で経歴を書いており、政治的な傾向が明らかにされている。

「私はリヴィウで、記者のための斡旋役をしています。ロシアの侵攻事件で（ウクライナへの）“誠実さ”を示す人が私の対象です。ウクライナは抵抗を続けるでしょう」

Twitter の背景写真は「スネーク島」の航空写真である。ここでロシアの軍艦とウクライナの守備兵が闘ったとされている。



ゼレンスキー大統領によると、13人のウクライナ人国境警備兵がロシア海軍から島の基地を守って「英雄的に戦死」したという。

「ロシア軍艦め、くたばれ！」というのが兵士たちの最期の言葉だったとか、そういう話である。

この逸話はウクライナ軍の勇気の証と謳われ、欧米の主要メディアで広く報道された。

ところが、件の13人は結局、ロシアの捕虜として生きて帰ってきた。スネーク島の守備隊の有名な最後の言葉も含め、戦火の中での勇気あふれる物語はすべて作り話だったのだ。親ウクライナ派によって捏造されたり大きく歪められた、数え切れないほどの物語の一つである。

しかしなぜかヒミアックのツイッターでは、スネーク島のにらみ合いがいまだに実際の歴史的な出来事であるかのように扱われている。

マリウポリ爆撃事件と「アゾフ大隊」（ネオナチ武装集団）

ヒミアックは自身のツイッターで、マリウポリ劇場の破壊に関する BBC の報道を自分の手柄のように語っている。本誌はこの点について共著者のバチエガ BBC 特派員にコメントを要請したが、まだ答えはない。

BBC と CNN は、マリウポリの劇場で数百人が死亡したとするウクライナ側関係者の話を引用しているが、それを裏付ける客観的証拠は今のところ提出されていない。

判明している範囲では、CNN と BBC はいずれも、「数百人の死者が出た」とするアゾフ大隊からの情報を唯一の情報源としているようである。

それによれば、ロシア軍はマリウポリ全域を廃墟とし、ネオナチのアゾフ軍団を主力とするウクライナ軍と激しい市街戦（street-by-street fighting）を繰り広げてきた。そしてマリウポリ劇場はアゾフ軍団が撤退するまで拠点としていたところである。

記事が詳しく述べるように、アゾフ軍は NATO による軍事介入を一貫して強く訴えていた。

複数の避難民は、アゾフ軍団が劇場を爆発（detonate）させたと言う。ロシアの攻撃という印象を与えて、西側諸国を戦争に巻き込もうとしたのだと主張している。（この項については下記の記事に記載されているようだが未見）

Was bombing of Mariupol theater staged by Ukrainian Azov extremists to trigger NATO intervention?

[MAX BLUMENTHAL](#) · MARCH 18, 2022

それにしても肝心の映像がない。ロシアが劇場を攻撃したとされる映像、生存者の救出や現場での大量死の映像はいまだ入手されていない。

CNN の提示した 2 つの「現場映像」

事件から9日後の3月25日、CNNは劇場襲撃の最初の映像だとするものを放送した。

その映像（下図）はわずか20秒で、ビルの1階への階段をゆっくりと降りていく少人数の一般市民を映していた。（すみませんが元サイトをご参照ください）

カメラの後ろで、ナレーターが繰り返し「空爆だ」と叫んでいるのが聞こえるが、1階にいた人たちは生存していると言っている。

爆発直後に撮影されたというこの映像には、煙やホコリがくすぶっている様子が見られない。このことから、映像は攻撃後しばらくしてから撮影されたと見られる。

こちらのビデオは3月16日に撮影されたものだ。煙の出ているビルが映されており、救助隊も人もいない。（すみません。こちらの方も元記事当たってください）

CNNは劇場内で300人の市民が殺されたと主張している。BBCも死者300人というウクライナの公式発表を受け入れた。

しかしBBCは、「マリウポリとの通信は依然として困難であり、独自に情報を確認することは困難である」とのべ、確認がとれていないことを認めている。

続く